

第2回多治見市地域包括支援センター運営協議会議事録

日 時：平成 25 年 3 月 12 日（火）

13:30～14:30

場 所：多治見市役所 4 階会議室

出席： 井澤賢録委員、井澤吉英委員、加藤千加良委員、加納忠行委員、鬼頭智恵子委員
遠山知恵子委員、
中嶋大貴委員、橋本和夫委員、長谷川洋子委員
(7 名出席)

欠席： 山田隆司委員

事務局： 渡辺福祉部長

高齢福祉課：柳生課長、水野リーダー、熊田リーダー、谷口、三宅

事務局 定刻となりましたので、ただ今から平成 25 年度第 2 回多治見市地域包括支援センター運営協議会を開催します。本日は、大変お忙しい中、ご出席いただきまして誠にありがとうございました。

本日、会長が緊急対応のため欠席されますので、代わりに副会長の遠山委員に司会進行をお願いします。遠山副会長よろしくをお願いします。

はじめに、福祉部長よりあいさつ申し上げます。

部長 福祉部長の渡辺でございます。本日は大変お忙しい中お集まりいただきましてありがとうございます。

11 月には、地域密着型介護老人福祉施設の整備・運営法人の選考について、皆様には大変お世話になりました。

第 5 期の介護保険計画も 1 年目の終わりを向え、順調な進捗状況であると思っています。ただ、給付費については、当初 67 億円を見込んでいましたが、69 億円となり、2 億円の増加見込みです。給付費の増加には、4 つの要因があるのではないかと考えています。国が見込んでいた短時間のヘルパー利用について利用が少ないこと、24 時間定期巡回随時対応型サービスが県内においても 1～2 箇所と参入がないこと、ディサービスなどの事業所が増加したこと、サービス付き高齢者向け住宅の整備による市外からの転入者が増えたことなどではないかと思えます。

また、国が進めている『地域包括ケア』についても、多治見市独自のシステムを作っていきたいと考えていますので、皆様のご協力をお願いします。

本日の審議よろしくをお願いします。

事務局 議事録につきましては、事務局で取りまとめの上、委員の皆様にご確認していただき、から委員名は公表せずホームページ上で公開させていただきます。

副会長 会長の代わりに議事を進行いたしますので、よろしくお願いします。

事務局 議題に入る前に資料の確認をさせていただきます。

(資料 1－1) 平成 24 年度事業報告（4 月～1 月）地域包括支援センター

(資料 1－2) 平成 24 年度事業報告（4 月～1 月）高齢者支援センター

(資料 2) 平成 25 年度 多治見市地域包括支援センター事業実施方針（案）

(資料 3－1) 平成 25 年度地域包括支援センター事業計画書（案）

(資料 3－2) 平成 25 年度地域包括支援センター事業計画書（案）職種別

(資料 3－3) 平成 25 年度高齢者支援センター事業計画書

(資料 4) 地域密着型サービス運営委員会資料

(資料 5) 指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例等の制定について（報告）

以上は、事前に郵送させていただいております。

当日資料としまして、

(当日資料 1) たじみ見守りかわら版

	(当日資料2) 平成24年度予防給付ケアマネジメント業務再委託契約予定事業所一覧表 (当日資料3) 平成25年度多治見市地域包括支援センター事業委託予算(案) (当日資料4) 平成25年度予防給付ケアマネジメント業務再委託契約予定事業所一覧表 (当日資料5) 平面図及び面積表 (当日資料6) 平面図及び面積表
副会長	それでは、これより議題に入ります。議題1. 地域包括支援センター平成24年度事業報告について、事務局から説明願います。
事務局	資料の訂正について —資料に基づき説明—
副会長	事務局の説明について、質問等ありませんか。
委員	資料1-1の『サービスネットワーク会議』は、医者も出席していますか。
事務局	出席してもらっていません。
委員	資料1-2の相談内容に『医療・健康』とありますが、医療について、だれが相談を受けるのですか。
事務局	資料1-2の『医療・健康』の相談は、医療的な相談というよりは、体に関する心配事の相談で、医療機関にかかっていたくよう勧めたりします。高齢者支援センターの職員が相談を受けています。
	『地域包括ケア』を進めていくには、医療との連携は、大切なことだと考えていますので、今後もよろしくお願いします。
委員	冒頭の部長のあいさつで『地域包括ケア』の話しをされましたが、随分以前から言われていることではないかと思いますが、いかがでしょうか。
事務局	随分前より『地域包括ケア』といわれていますが、より一層の『地域包括ケア』を推進しているところです。
委員	多治見市の『地域包括ケア』として強化したいことがありますか。
事務局	地域で『コア会議』を検討できないかと考えています。
委員	各地域での、地域性があると思いますが、地域での問題のピックアップができていないですか。
事務局	3年毎に計画作成のために行ったアンケートにおいては、全地域の高齢者を抽出して地域性の問題点を探ろうとしましたが、目に見えての成果は得られませんでした。
委員	事業所が一番問題を把握しているのではないかと思います。
事務局	高齢化率、独居世帯など地域で差があります。社会福祉協議会、地域包括支援センター、各事業所と連携して『地域包括ケア』を推進していきたいと思っています。
委員	高齢者は、生活に密着した部分を一番知りたいのではないかと思います。介護予防教室など、外に出かけられる高齢者は良いが、引きこもっている人をどうしたら良いのか、あらゆる目線で、地域の問題を発信されてない部分もひろえるようにしていただきたいと思っています。
副会長	個々から、地域、市全体の中でどの部分が弱いのか把握していただき、次回の計画等に役立ててください。
委員	民生委員の方が、独居の方との関わりをもっていますが、中まで入り込めないこともあって、なかなか吸い上げられるものが少ないです。人と人との関わりが希薄になっている部分があり、表面化してこないと思います。まずは、地域で見守ることが大切です。
	また、ボランティアの育成講座について、どのような効果があるのかわかりませんが、ボランティアを上手に活用できると良いと思います。
事務局	現在ボランティアの方には、認知症のボランティア講座や料理教室など補助として活躍してもらっていますが、講座受講後の活躍の場を考えていくことが今後の課題であると思います。
委員	民生委員について、担当が決まっているようですが、近所にすんでいる民生委員には、自分の生活を知られたくないから相談したくないのではないかと思います。
委員	親しくならないと相談できないということもあります。
委員	近所の民生委員には相談したくない方と地域の情報も知らない人に相談したくない方どちらもあると思います。

委員	民生委員の担当地域が決まっていますが、お互い民生委員同士が情報を共有していて、相談して解決に繋げることになっているので、近所の民生委員に相談できなくても、他の地域の民生委員に相談していただければ良いと思います。
包括課長	地域包括支援センターにも相談窓口があり、あらゆる相談に対応しています。地域においてご協力いただきたい案件については、地域の民生委員の方に協力いただいています。その他よろしいですか。
副会長	それでは、次の議題に入ります。議題2. 平成25年度地域包括支援センター事業方針について、事務局から説明願います。
事務局	—資料に基づいて説明—
副会長	事務局の説明について、質問等ございませんか。
委員	事業方針で、新しいものは何ですか。
事務局	平成25年度において、初めてのころみになります。事業方針を示して委託します。
副会長	その他よろしいですか。
	—質問なし—
	それでは、次の議題に入ります。議題3. 平成25年度事業計画について、事務局から説明願います。
事務局	—資料に基づいて説明—
副会長	事務局の説明について、質問等ございませんか。
	—質問なし—
	全体通してご質問はありませんか。
	—質問なし—
	見過ごされることなく、見守りできるようお願いします。
	これをもちまして、第2回多治見市地域包括支援センター運営協議会を終了します。